

界わい緑化でつながるみどりの“わ”

～まちに居心地のよいみどりの空間を～

豊島区界わい緑化事業は、ご近所同士が3軒以上集まってそれぞれのお宅や事業所を緑化し、その後もそのみどりをまちの景観として、協力して育てていく取り組みです。

池袋本町・上池袋地域を拠点としてまちづくり活動に取り組むNPO法人街づくりネットワークでは、池袋本町通り商店街とともに界わい緑化事業に参加し、昨年11月に池袋本町通り商店街のコミュニティセンターを中心とした4軒の緑化を実施しました。

今回は、緑化に参加した同法人代表理事で池袋本町通り商店街会長の奈良さんと、今回の緑化の発起人である同法人理事の青木さんにお話を伺いました。



NPO 法人街づくりネットワーク
(写真左) 代表理事 奈良 芳樹さん (写真右) 理事 青木 正典さん

Q. 緑化に参加したきっかけは何ですか？

A. 池袋本町地区では都市計画道路整備が予定されています。新しい道路ができる機会に多くの方にまちを訪れてもらい、気軽に集うことができる居心地の良い場所を提供したいと思いました。

Q. 参加するにあたって、どのような準備をされましたか？

A. NPO理事会において説明会を実施し、今回緑化した4軒を含めたコミュニティセンター周辺の地域の方々20名が参加しました。その後も、大塚の界わい緑化モデル植栽の見学ツアーや緑化へのイメージ共有などのワークショップを区と一緒に進めることで、緑化に向けて意識が高まっていきました。

Q. 参加してよかったことを教えてください。

A. 説明会やワークショップを通して、地域の皆さんと交流することができました。身近にみどりが好きな方がいることもわかり、みどりを通じて人のつながりもできました。現在は、緑化したエリアを「まちのみどり」として、地域の方と水やりなどの管理をしています。

Q. 緑化した後、周囲に変化はありましたか？

A. 雰囲気がとてもよくなりましたね。以前は、自転車が置かれているだけの殺風景な場所で車を駐車されてしまうこともあったのですが、緑化によりプランターができてからはそういったこともなくなりました。今後は、木の下草として植えている草花を季節ごとに植え替えるなど、楽しみながら活動の幅を広げていきたいです。



限られたスペースでもプランターでみどりが楽しめます。



木の下草として季節の草花を植えてみどりが楽しめます。

3月にはお披露目会を実施して、地域の皆さんへ界わい緑化による「まちのみどり」をPRする予定とのこと。今後は、今回の界わい緑化をきっかけとして、地域全体の緑化や草花のお手入れに取り組みながら、地域の皆さんとみどりの“わ”を広げていきたいそうです。界わい緑化には区の助成制度もあります。裏面トピックス欄で紹介しています。

Vol.② エコのわブック エコや環境を意識して暮らす「きっかけ」をくれる一冊を紹介します。



「街の木のキモチ」
著/岩谷 美苗
発行 山と溪谷社

「街の木のキモチ 樹木医のおもしろ路上診断」は、樹木医の岩谷美苗さんが街で見つけたおもしろい木を人に例え、木の気持ちを想像しながら紹介する本です。同じ日、同じ場所に植えられた同じ種類の双子の兄弟が正反対の運命をたどる「運命の明暗」や「ベンチで、ほっと一息」する木の根っこなど、木を観察すると見えてくる隠れたドラマが数多く紹介されています。

そして、木が生き抜くために進化の過程で生み出した知恵や、病気への対処法には私たち人間が教えられることもたくさんあります。木の植え方、育て方などのワンポイントアドバイスも満載。岩谷さんのブログ「街の木コレクション」では、本で紹介しきれなかった木も掲載されています。

ブログ「街の木コレクション」 URL:<http://machinoki.blog100.fc2.com/>

*「街の木のキモチ」は現在出版社での取扱いはありません。豊島区の図書館などで貸りることができます。